



## 北の台小学校から下校時見守り会員が招待される

### ▶ 11月11日(金)は、学年発表会を見学

北の台小学校は、6月に2・4・6年生による「学年発表会」を催しましたが、今回は1・3・5年生による学年発表会を11月11日(金)に開催し、前回の6月と同様、保護者と共に大上と蓼川の地区社協の下校時見守りをしている会員も招待され、大上地区社協から市ノ澤会長以下12名が参加しました。

当日は、午前9時50分から同校体育館の舞台側半分を使って、1年生の音楽劇「たぬきの糸車」から始まり、3年生のシュプレヒコール劇「モチモチの木」、そして5年生の北の台太鼓「絆・心をつなげ」を披露。日頃の練習の成果を存分に発揮した児童の演技に、体育館の入口側半分を使用した参観用席一杯の見学者は、盛んな拍手を惜しみなく送っていました。

発表会は、最後に内藤校長の挨拶をもって午前11時過ぎに終わりました。



上から1年生、3年生、5年生の演技

### ▶ 11月22日(火)は、児童と昼食を共にする

北の台小学校の内藤校長から、10月末に大上と蓼川の地区社協の下校時見守りの会員へ「日頃、お世話になっている地域の皆様を11月22日(火)に学校へお招きし、子ども達と会食を通して感謝の意を表したい。」という招待状が届きました。

そして22日の当日は、正午に両地区社協の会員21名が学校を訪ねた。始めに小松教頭から説明を受けた後、1年生と2年生の6クラスに分かれてそれぞれ教室に入り、児童から熱烈な歓迎を受け、手作りの名前入り感謝状を1人1人に贈呈された後、児童達と共に同じメニューの昼食を共にしながら親しく会話を楽しんだ。

食後は参加者が一堂に集まり、内藤校長から「“ありがとう”という感謝の気持を持てる子どもに成長してもらいたい、との思いで今回の催しを企画しました。本日は、1・2年生の教室で食事をして頂きましたが、6年生が昼食の盛付けを、5年生が感謝状を作るなど、全学年が協力して、本日を迎えました。」という挨拶に、みんな感激していた。一方、会員からも「今日は子ども達が身近に感じられ、大変良かった。今後もこのような催しを期待します。」という感想も発表された。

今回の催しは、綾瀬市内の小学校としては初めてという事ですが、出席した大上地区社協の市ノ澤会長以下15名の会員は、学校の心遣いに感激すると共に、これからの下校時見守りの必要性について、認識を新たにしていました。



1人1人に感謝状が贈られる



会員は児童達と昼食を共にする



当日のメニュー